

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公開特許公報(A)

(11)公開番号
特開2024-174279
(P2024-174279A)

(43)公開日 令和6年12月16日(2024.12.16)

(51)国際特許分類		F I			
A 4 2 B	1/04 (2021.01)	A 4 2 B	1/04	Q	
A 4 2 B	1/018(2021.01)	A 4 2 B	1/018	Z	
A 4 2 B	1/0181(2021.01)	A 4 2 B	1/0181		
A 4 2 B	1/0186(2021.01)	A 4 2 B	1/0186		
A 4 2 B	1/019(2021.01)	A 4 2 B	1/019	B	
		審査請求	未請求	請求項の数 4	書面 (全5頁) 最終頁に続く
(21)出願番号	特願2023-101222(P2023-101222)		(71)出願人	523230720	
(22)出願日	令和5年6月3日(2023.6.3)			武延 美鈴	
				広島県広島市南区西旭町 1 4 - 2 4 今	
				村エステート 4 1 1	
			(72)発明者	武延 美鈴	
				広島県広島市南区西旭町 1 4 - 2 4 今	
				村エステート 4 1 1	

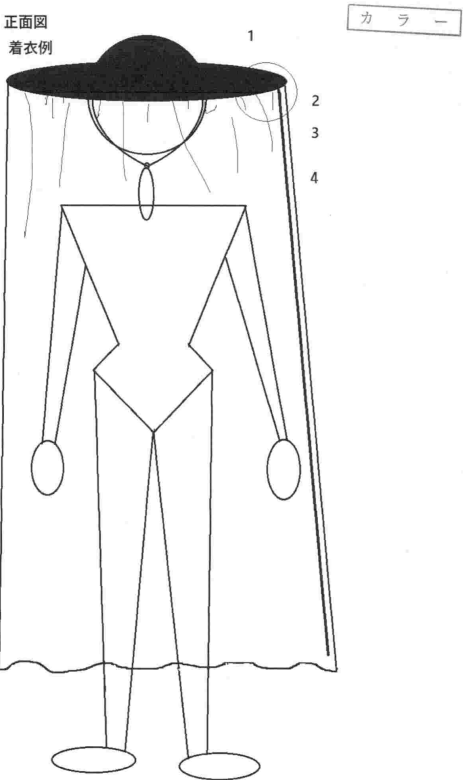
(54)【発明の名称】 雨除け帽子

(57)【要約】

【課題】雨が降った時に荷物や体が濡れることを軽減し、傘の忘れ物を減らし、ゴミを減らすことを提供する。

【解決手段】防水帽子に留具の付いた膝下長さの透明ビニールを付け、帽子が飛ばないように帽子に紐を付けたものを装着することにより、両手が空き、風が吹いても荷物も体も濡れることを確実に軽減できる。

【選択図】図 1



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ハットの形をした頭を覆う本体部分と本体部の周縁部にツバが付いた防水帽子 1 のツバの先端に雨除け用の透明ビニール 2 を付着してなる雨除けの防水帽子であって、前記防水帽子に紐を付け、顎下で固定できるようになっていて、前記防水帽子 1 のツバ先端円周に透明ビニール 2 の下端部が着用者の少なくとも膝下までの長さで体を囲むものであり、側端部留具 5 によって開閉可能であることを特徴とした雨除け帽子である。

【請求項 2】

前記雨除け帽子は、半球状で上凸に、ドーナツ型を付けた型で、前ツバを狭く、後ろツバを広く、中心軸が前側にズレているとより良い。

10

また、固定用の紐は、布などでも良いのが請求項 1 の雨除け帽子である。

【請求項 3】

前記雨除け帽子は中心軸が前にズレているとより良いのが請求項 2 の雨除け帽子である。

【請求項 4】

前記防水帽子 1 のツバ先端円周が 1 に対し透明ビニール 2 の接着辺は 2 (1 : 2) の大きさで、透明ビニール 2 は、防水帽子 1 との接着辺をギャザーにして防水帽子 1 に接着したものが、請求項 1 の雨除け帽子である。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

20

【背景技術】

【0002】

【先行技術文献】

【特許文献 1】特許第 3017936 号

【課題を解決しようとする課題】

【0003】

従来雨除けは、主に傘が使用されている。傘の忘れ物は非常に多く、ごみ処分量も多い問題がある。また、傘は風が吹くと雨に濡れてしまう。カッパやポンチョなどといった雨除けもあるが着脱に時間を要し、顔が濡れる。また、傘同様、風により雨に濡れやすいといったこともあり、従来防水帽子は使用者が少ない問題を解決しようとする課題を有する。

30

【課題を解決するための手段】

【0004】

本発明は上記の問題を解決するために開発したものであり、ツバ付き帽子のツバ先端円周に透明ビニールを膝下までの長さにすることにより、雨や手荷物を守ることを特徴とする雨除けの帽子の提供であり、また、前記防水帽子 1 に透明ビニール 2 で構成され、防水帽子 1 には固定用紐 3、透明ビニール 2 には留具 4 を防水帽子円周先端から膝下まで取り付けることによって体と手荷物が濡れることを防ぎ、カバン等に入れて持ち歩けることから、忘れ物の減少、ゴミの削減に繋がる防水帽子の提供にある。

【発明実施の形態】

【0005】

40

本発明の実施形態は、図のようにツバ付き帽子ツバ先端円周辺に雨除け部を装着してなる雨除け帽子であって、前記防水帽子 1 に固定用紐 3 をつけ、両面ファスナー 5 の付いた透明ビニール 2 を防水帽子 1 に付けた防水帽子であるから、従来の雨除け帽子とは体や荷物全体の雨除けであって、風雨を防ぐことが可能となる。

【0006】

また、前記防水帽子 1 は、半球凸のものにドーナツ型のツバを付けた形が好ましく、ツバは、前側を狭く、後ろ側が広いと視界を塞がず、雨水も後ろへ流れやすくなることから、雨漏れを防ぐことが可能となる。

【0007】

更に、前記防水帽子 1 のツバ先端円周が 1 に対し透明ビニール 2 の接着辺は 2 (1 : 2)

50

の大きさが好ましく、透明ビニール 2 は、防水帽子 1 との接着辺をギャザーにし防水帽子 1 のツバ先端内側に接着することで雨を防ぐ。

【0008】

前記透明ビニール 2 は、防水帽子との接着辺を横とした時、ファスナー付け辺を縦とし、透明ビニール 2 に留具 4 を片側は数センチ中心寄りに、もう片側は端に、下から上へ開き、上から下へ閉じるように開閉部が裏表からできるようにすることで、着脱しやすくした防水帽子の提供にある。

【発明の効果】

【0009】

本発明はツバ付き帽子の先端円周に透明ビニールを付けて成る雨除け帽子であって、前記紐 3 を付けた防水帽子 1 に両面ファスナー 5 を付けた透明ビニール 2 を付けた雨除け帽子であるから、風や雨の防止、従来忘れ物に多い傘、傘の処分ゴミ削減を目的とした雨除け帽子である。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 本発明からなる雨除け帽子の全体正面図である。

【図 2】 本発明の防水帽子 1 と透明ビニール 2 の接着拡大図である。

【図 3】 本発明の分解図である。

【符号の説明】

1 防水帽子

2 透明ビニール

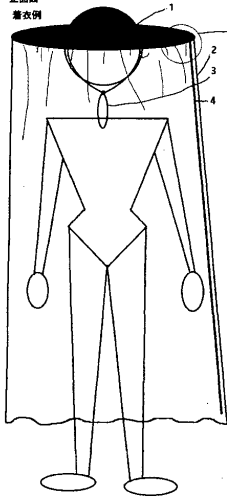
3 紐

4 留具

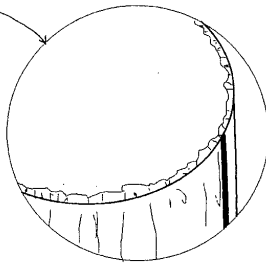
【図面】

【図 1】

【図 1】 正面図

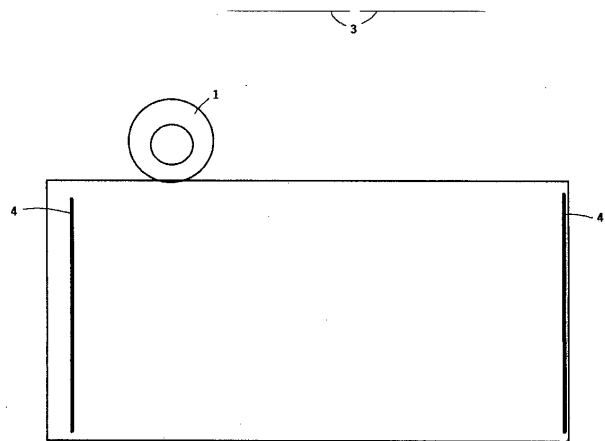


【図 2】 ツバ先端拡大図



【図 3】

分解図



10

20

30

40

50

【手続補正書】

【提出日】 令和5年10月20日(2023.10.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】 図面

【補正対象項目名】 全図

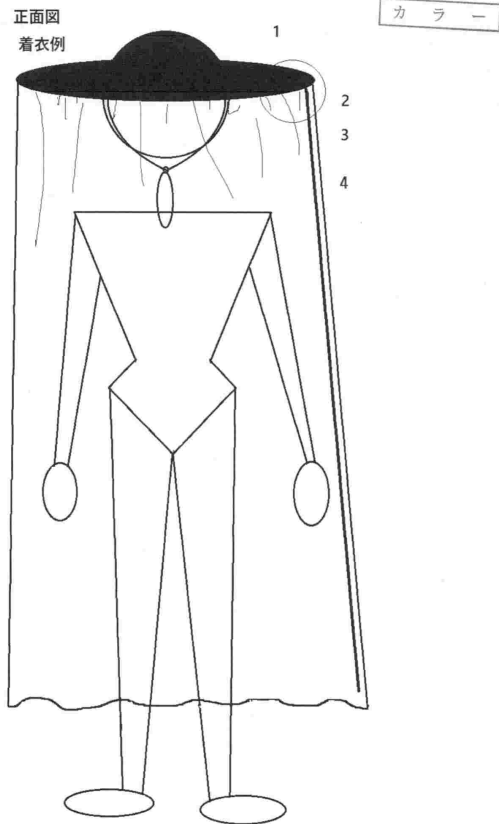
【補正方法】 変更

【補正の内容】

【図面】

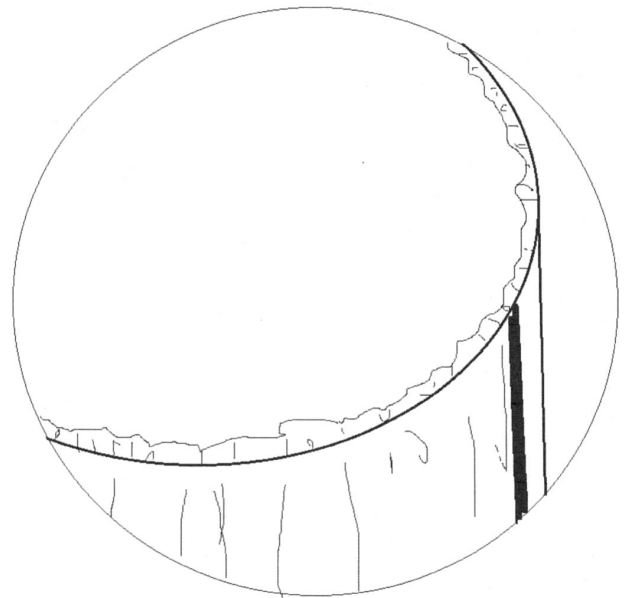
【図1】

正面図
着衣例



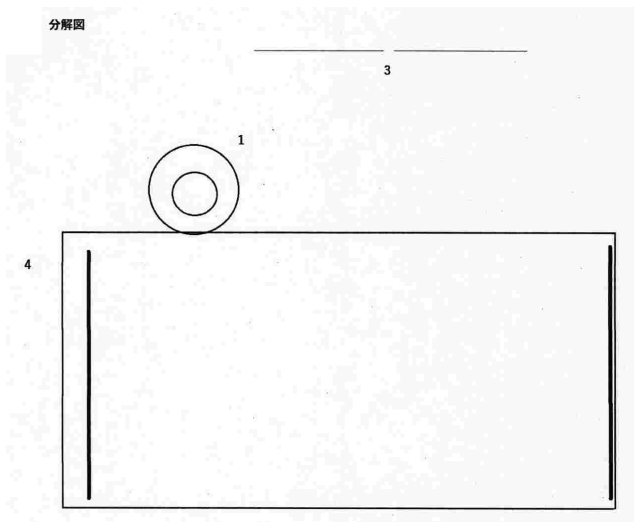
【図2】

ツバ先拡大図



【図3】

分解図



10

20

30

40

50

フロントページの続き

(51)国際特許分類

A 4 2 B 1/00 (2021.01)

F I

A 4 2 B

1/00

Z